

性状等

成分：次亜塩素酸ナトリウム(5～6%)
分類：雑品
液性：アルカリ性(原液:pH11.5～12.5、100倍希釈液:pH9.5～10.5)
外観：淡黄色～淡緑黄色の透明液体
臭気：塩素臭
使用期限：製造後12ヶ月

使用方法

1 洗浄方法に応じた希釈倍率で、透析装置や配管を一定時間洗浄する。

希釈倍率の目安 夜間封入時:150～200倍希釈、シングルパス時:50～100倍希釈

※透析装置や配管の汚れの程度に応じて希釈倍率と洗浄時間を調整してください。

2 夜間封入およびシングルパス後、十分なすすぎを行う。

すすぎ時間の目安 水洗で60分以上(必要に応じて残留を確認する)

※総残留塩素(遊離塩素と結合塩素の合計)がDPD法(パックテスト®総残留塩素等)にて0.1mg/L(ppm)未満となることを確認してください。

使用上の注意

- 洗浄後は十分に水洗し、残留確認試薬(パックテスト®など)で薬剤の残留がないことを確認してください。
- 本品に消毒・滅菌効果はありません。
- 用途以外に使用しない。
- 他の薬剤・洗浄剤とは混ぜない。特に、酸性タイプ製剤と混ぜない。有害な塩素ガスが発生する。
- 作業時は、必ず保護メガネおよびマスク、保護手袋、保護着を着用する。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。
- 人体には使用しない。
- 体調の悪いときは使わない。
- 一度容器から出した薬剤は、もとの容器に戻さない。
- 換気の良い場所で作業し、ミストの吸入を避ける。
- 金属部材・ポリウレタンなど高分子部材に長時間触れないように注意し、十分洗い流す。
- 使用後は、水で目・皮膚・のど・手をよく洗う。
- キャップを開けると、液が飛び出す恐れがある。また、容器を移動するときは、キャップをしっかりと閉める。緩んでいると、液が跳ねて目や皮膚に付く恐れがある。
- 廃棄時は適切な中和剤を用いて中和後、多量の水とともに廃棄する。そのまま廃棄すると、廃水処理施設の活性汚泥や配管に影響を与える恐れがある。
- 使い終わった容器はよく洗ってから処理する。
- 内容物や容器は、(国際/国/都道府県/市町村)の規則に従って廃棄する。
- 使用期限が過ぎたものは使用しない。

保管上の注意

- 他の容器に移し替えて保管しない。
- 小児や認知症の方の誤飲などを防ぐため、置き場所に注意する。
- 容器のキャップをしっかりと閉め、容器を密閉して換気の良いところで保管する。
- 容器は必ず上向きで保管する。横に倒すと液が漏れ出る恐れがある。
- 倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。
- 直射日光の当たらない冷暗所に保管する。

応急処置

- ※診断時は、必ず本品またはSDSを持参する
- 万一塩素ガスを吸い込んだ場合、直ちに患者を風通しのよい場所に避難させ、安静にした後に速やかに医師の診断を受ける。手当てが遅れると生命にかかわる恐れがある。
 - 目に入った場合、直ちに流水で15分以上洗い流す(コンタクトレンズは外す)。その後、速やかに医師の診断を受ける。手当てが遅れると失明する恐れがある。
 - 飲み込んだ場合、直ちに多量の水、牛乳や生卵を飲ませる(アレルギーの場合はその限りではない)。無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。濃い液を飲み込んだ場合、手当てが遅れると生命にかかわることがある。
 - 液が皮膚に付いた場合、直ちに大量の水で十分に洗い流す。液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。手当てが遅れると炎症を起こす恐れがある。
 - 使用中、目にしみたり、せき込んだり、気分が悪くなった場合は、使用をやめてその場から離れ、洗眼やうがいをする。

品名	内容量/規格	1梱入数	商品コード	JANコード
ジアラピッドSH	10kg B.I.B.	1	31753	49-87696-31753-6

■ 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 ■ 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。 ■ 掲載製品の詳細については、取扱店または当社にお尋ねください。 ■ 記載内容は2025年6月現在のものです。

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
https://www.saraya.com/

お問い合わせ先 TEL.06-6797-2525

学術的なお問い合わせ先 学術部 TEL.06-4706-3938
(受付時間：平日 9:00～17:00)

SARAYA

商品の詳しい情報は
こちらから▶



透析装置専用 次亜塩素酸ナトリウム系洗浄除菌剤

ジアラピッドSH

透析装置や配管に付着した
**有機物汚染、
微生物汚染の除去に最適な
次亜塩素酸ナトリウム系
透析装置専用洗浄除菌剤です。**



10kg B.I.B.



製品特徴

洗浄性能

透析装置や配管に付着した有機物汚染や微生物汚染を効果的に除去します。

除菌性能

バイオフィルムの原因となる細菌や酵母を短時間で除菌します。

安全性

食品添加物グレードの次亜塩素酸ナトリウムを使用しています。

透析装置専用 過酢酸系洗浄除菌剤「サラティブPA」「サラティブPA-V」と併用することで、透析装置や配管に付着した有機物汚染や微生物汚染をより効果的に除去することができます。



除菌性能

除菌性能試験

ジアラピッドSHを精製水で希釈し、グラム陰性菌、グラム陽性菌、酵母を $10^6 \sim 10^9$ CFU接種しました。一定時間作用させた後、不活化剤で不活化し、グラム陰性菌とグラム陽性菌は37℃で24時間、酵母は30℃で72時間培養した後、生残菌数を測定し、対数減少値を求めました。

供試菌	初期菌数 (CFU/mL)	作用時間	対数減少値(Log CFU/mL)		
			100倍希釈液	200倍希釈液	300倍希釈液
グラム陰性菌	1.18×10^8	1分	>7.07	>7.07	>7.07
		2分	—	>7.07	>7.07
グラム陽性菌	6.2×10^7	1分	>6.79	>6.79	>6.79
		2分	—	>6.79	>6.79
酵母	8.5×10^6	2分	>5.93	>5.93	5.15
		5分	>5.93	>5.93	>5.93
		10分	—	—	>5.93

ジアラピッドSHは、グラム陰性菌やグラム陽性菌に対して、作用時間1分後で検出されませんでした。また、酵母に対して、ジアラピッドSHの100倍～200倍希釈液は作用時間2分後、300倍希釈液は作用時間5分後で検出されませんでした。

洗浄性能

有機物汚れ除去性能試験

ジアラピッドSHを精製水で希釈し、血液凝固汚染モデルとして市販の洗浄評価インジケータのプラスチックを外したステンレス板を浸漬しました。5分、10分および60分後に取り出し、残留タンパク検出液を用いて染色し、残留した有機物汚れの有無を確認しました。

試験前	時間	100倍希釈液	200倍希釈液
		5分後	
10分後			
60分後		—	

ジアラピッドSHの100倍希釈液に浸漬すると10分後、200倍希釈液に浸漬すると60分後に有機物汚れが除去されました。

希釈液の中和方法

ジアラピッドSHの希釈液を2019年版透析排水基準であるpH5～pH9の範囲にする際には、以下の方法を参考に中和してください。

方法	ジアラピッドSH 100倍希釈液の場合	ジアラピッドSH 200倍希釈液の場合	備考
精製水	約20倍希釈	約10倍希釈	
水道水	約2倍希釈	約1.5～2倍希釈	
クエン酸	約0.1g/L	約0.1g/L	入れすぎないこと

材質適合性

材質適合性試験

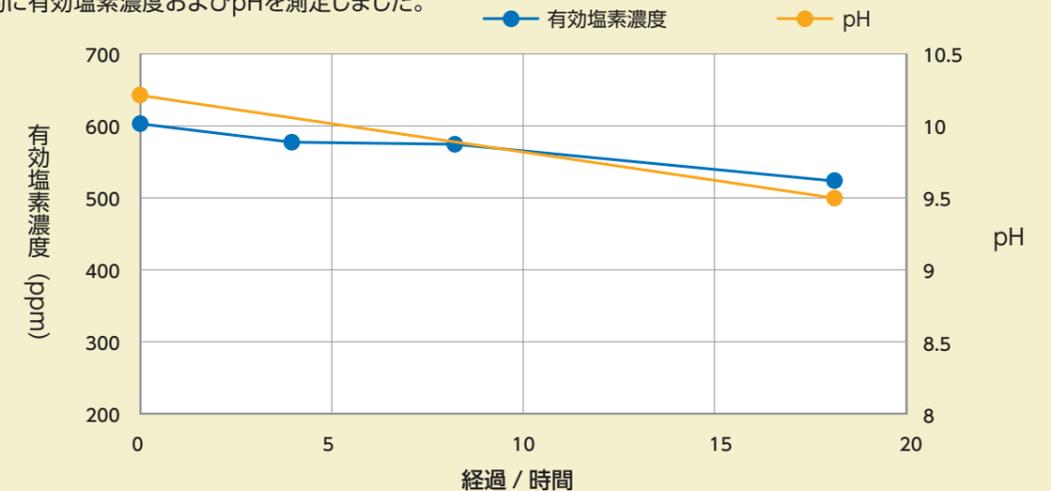
ジアラピッドSHを精製水で100倍に希釈し、各種材質のテストピースを浸漬しました。50℃で7日間保管後、テストピースの重量変化率と外観変化を調べました。対照を精製水としました。

材質	精製水		ジアラピッドSH100倍希釈液	
	重量変化率/%	外観変化	重量変化率/%	外観変化
硬質塩化ビニル	-0.04	変化なし	-0.08	変化なし
軟質塩化ビニル	0.04	変化なし	0.06	変化なし
シリコン樹脂	-0.02	変化なし	-0.20	変化なし
フッ素ゴム	1.45	変化なし	1.50	変化なし
ポリプロピレン	0.00	変化なし	0.00	変化なし
ポリエチレン	0.00	変化なし	0.01	変化なし
EPDMゴム	0.03	変化なし	0.11	白色化
フッ素樹脂:PTFE	-0.03	変化なし	0.00	変化なし
ポリスチレン	0.02	変化なし	0.01	変化なし
ABS樹脂	0.09	変化なし	0.10	変化なし
アクリル樹脂	0.49	変化なし	0.64	変化なし
ポリフェニルサルフォン	0.08	変化なし	0.15	変化なし
ポリエーテルイミド	0.16	変化なし	0.14	変化なし
ポリカーボネート	0.01	変化なし	0.01	変化なし
ガラス	-0.02	変化なし	-0.03	変化なし
ポリサルフォン	0.00	変化なし	0.02	変化なし
PET	0.15	変化なし	0.13	変化なし
ポリフェニレンサルファイド	0.02	変化なし	0.02	変化なし

希釈時の経時変化

希釈時の経時変化

ジアラピッドSHを精製水で100倍に希釈し、室温で保管しました。定期的に有効塩素濃度およびpHを測定しました。



ジアラピッドSHの希釈液は長期間活性を維持します。